

# 京都とマリと空間人類学

## —京文化はブリコラージュ

京都精華大学学長 ウスビ・サコ



私は建築計画を専門とし、空間形態や空間占有など、コミュニティの中の空間利用を人類学的に解説してきた。全く異なる文化に見える京都の空間特性(町家と道空間、コミュニティ、打ち水と近隣関係)とマリの空間特性(中庭の共同利用、生活行動と空間占有)を比較的に論じ、生活の場としてそれぞれがどのように成り立っているかを整理し、説明することができる。人類学と建築文化の深い関わりと興味深い関係性があると考え。

来日以来、30年以上を京都で過ごしている。来日当初は、京都のまちを特に研究対象とはしていなかったが、京都に住んでいるうちに自然と、そのコミュニティ、建物、まちとまち並みに興味をひかれた。京都では、「伝統的」な形式の建物の一つである京町家が様々な形や用途で転用されている現象がある。本来、建物は有機的なものであり、町家という

建築のスタイルはある時代のある文化の事象が表現されていたにすぎない。なおかつ町家の空間構造はその家に住む家族の文化のみならず、その地域、町内などにも非常に密接な関係を持っていた。そこに住む人が変われば、空間に対する価値観は変わり、空間の持つ意味も変わる。町家の本質は、住人の日常生活から社会生活も含めて空間の配置が考えられているのである。

京都の町家暮らしには「ブリコラージュ」的な要素がある。これは京都の文化人の言葉を借りると、「京文化は詳しく説明してしまうと美しさが崩れてしまう。それはブリコラージュだから。特に、京都のおもてなしは、あり合わせのものを組み合わせ、相手にその場所を最高のかたちで感じてもらうことが重要で、いわゆるお茶の世界という一期一会にも通じる」ということだ。

例えば、町家に暮らしたいけれど、「トイレは水洗がいい」「お風呂は最新のものを使いたい」「駐車場を設けたい」といった要望がある場合、そうしたことのバランスを含めて、住む人の総合的な価値観を最大限酌み取り、場所が変容する。これは単なる空間のリフォームではなく、文化から空間創造、「ブリコラージュ」をし、それがまた新しい文化の創造につながっていく。京都は一見、古く思われがちだが、その暮らしには革新が絶えない。

私が生まれ育ったマリ共和国の首都バマコの典型的な住居は中庭型住宅である。中庭型住宅の中庭や玄関室は外部からの緩衝的役割を担い、家族のライフステージに合わせた部屋の増改築は、これらの空間を残しつつ、中庭の壁に沿って行われる。中庭型住宅に暮らす人数は20、30人が一般的で、同じ「かまど」のご飯を食べる。中庭がその生活行動を調整する「コモンズ」的存在である。中庭型住宅に、複数世帯が居住する場合でも、同じ場を時間をずらし



使用したり、様々な形の「行動場所の共有」が見られる。居住者は、中庭に用具をメーカー的に置くことにより、その行動に必要な場所を確保する。住居はその居住者の生活文化を象徴するものであり、家族とともに成長し、また再生される有機的なものであることが空間人類学の視点から見ることが出来る。京都の町家とまちに見える空間の序列化もバマコの中庭型住宅に見える場所の共有と調整も、近代建築で語られてきたパーソナルスペース(私的空間)とパブリックスペース(公的空間)が表裏一体となった単純な空間構造ではなく、私的空間(ウチ)と公的空間(ソト)の間の様々な文化的な重なり(レイヤー)の上に成り立っている。

また、京都のまちでは、道空間は重要な役割を果たしており、住民の関係を調整する緩衝的な役割だけではなく、まちの住民の打ち水や表出行為によって、縄張りと同時に土地や住戸に対する愛着が表象される場所でもある。近年、京都では伝統産業の衰退、少子化や高齢化などの影響によって、まちを形成してきた町家も減少し続けている。道空間を共有しないまちの構成は、従来、町家の集合体で形成されてきたまちと全く別の関係性へと変容する可能性を孕んでいる。「新たな道空間」を創造することが、暮らしを存続するうえで重要な鍵を握っている。

利便性、効率性、合理性を求める近代は、空間の文化性が問われるほど建築を変えてきた。現代社会においては、文化を体現する建築空間作りに期待したい。

## 時の調べ Essay

### 略歴

マリ共和国生まれ。国の派遣により北京語言大学、南京東南大学で学ぶ。1990年、東京で短期ホームステイを経験しマリに共通するような下町の文化に驚く。1991年来日、1999年京都大学大学院工学研究科建築学専攻博士課程修了。博士(工学)。専門は空間人類学。「京都の町家再生」「コミュニティ再生」など社会と建築の関係性を様々な角度から調査研究している。京都精華大学人文学部教員、学部長を経て、2018年4月から現職。

※4冊目となる単行本が「世界思想社」より10月29日発売

(注)ブリコラージュ: Bricolage (フランス語「いろいろなものを寄せ集めて繕う」という意味)